

平成25年2月13日

与謝野町議会

議長 赤松 孝一 様

議会活性化特別委員会

委員長 井田 義之

第1回議会懇談会報告書

1 はじめに

平成24年3月に制定した議会基本条例第4条の規定により、町内小学校区を基本とし、11会場において議会懇談会を実施し、206名の参加がありました。

いただいた多くの意見を、議会・行政・その他に分類し、同じ内容の意見はまとめ、また、アンケートのご意見も合わせ報告します。

2 日程

平成24年10月22日～11月30日（午後7時30分から約2時間）

3 班編成及び開催日時等	・・・・・・・・・・・・・・・・	1頁
4 参加者の意見（アンケートも含む）	・・・・・・・・・・・・・・・・	2頁
5 行政に対する質問と回答	・・・・・・・・・・・・・・・・	18頁
6 アンケートの集計結果	・・・・・・・・・・・・・・・・	19頁
7 その他	・・・・・・・・・・・・・・・・	21頁
・議員・事務局の役割分担		
・開会挨拶・報告説明資料		

班編成及び開催日時等

1 班編成（6人編成で3班）

（班代表者及び副代表以外は、氏名の五十音順）

1班	◎井田 義之	○有吉 正	今田 博文	多田 正成	山添 藤真	和田 裕之
2班	◎杉上 忠義	○野村 生八	家城 功	小林 庸夫	勢旗 毅	宮崎 有平
3班	◎赤松 孝一	○伊藤 幸男	糸井 満雄	塩見 晋	谷口 忠弘	浪江 郁雄

◎班代表者 ○班副代表者 下線：議会活性化特別委員

2 開催日時、場所、地区、担当班

	日にち（曜日）	会場	地域	班
1	平成24年10月22日（月）	滝地区公民館	与謝地区	1班
2	平成24年10月26日（金）	温江地区公民館	桑飼地区	2班
3	平成24年10月30日（火）	加悦地域公民館	加悦地区	3班
4	平成24年11月 6日（火）	三河内地区公民館	三河内地区	1班
5	平成24年11月 9日（金）	岩屋地区公民館	岩屋地区	2班
6	平成24年11月12日（月）	四辻地区公民館	市場地区	3班
7	平成24年11月16日（金）	上山田地区公民館	山田地区	1班
8	平成24年11月20日（火）	石川地区公民館	石川地区	2班
9	平成24年11月22日（木）	石田地区公民館	石田・弓木地区	1班
10	平成24年11月27日（火）	知遊館	岩滝地区	2班
11	平成24年11月30日（金）	男山地区公民館	男山地区	3班

※時間は午後7時30分から午後9時30分まで

参加者の意見

— 議会への意見 —

【議会懇談会】

Q：議会懇談会ということで、参加者は少ないが、非常にありがたい。今後も続けていただきたい。

A：我々もしっかりと勉強しながらやっていきたい。

Q：今夜の懇談会の告知について。我々だけではなく、議員各位からもっと呼びかけをしてもらわなければならない。有線テレビを使用するなど、次回は告知方法を考えて頂きたい。

A：告知の方法に関しては反省するべきである。口コミを利用するなど、工夫を考えていきたい。

- ・議会懇談会はとてもいいことだと思う。ただ、参加者が少ないのが残念。増やすための工夫を。
- ・これまでにない取り組みで大変良かった。
- ・初めての企画で良かった。次回はもっと多く動員します。ただ、一部の人の質問に偏っていた。
- ・大変有意義な意見交換ができて良かった。
- ・事前の宣伝をもっとすべきではないか。事前の意見に答えてもらう形で進めれば進行もスムーズだったと思う。
- ・参加者が少ない。区でも回覧板を回したりしているが、主催者側がもっと、いろんな方法で参加してもらおう努力がない。
- ・町政懇談会となると区民も身近で、直接話ができ、結構出席がある。議会懇談会はPRが少ない。議員に対して何を話そうか、話していいのかというのが現状ではないか。それだけ距離がある。
- ・男山はいつも懇談会が最後になっている。
- ・会場の暖房を付けてほしい。
- ・若い人の意見も聞いてほしい。同じ人の質問に偏っている。
- ・校区ではなく、地区単位でしてほしい。
- ・出席者は身近なことに関心があるのでは。
- ・議員と町民が話し合う機会を持ち、共に切磋琢磨し、少しでも住みやすい町にする必要がある。事務的に受け答えするだけでなく、もう少し先鋭的な意見をお願いしたい。
- ・行政に対する質問等が多いように思われる。議会として主導されてはどうか。
- ・質問に対して答えられないことが多すぎる。町職員との懇談会の方が実がある。
- ・答弁の踏み込みが足りないと思う。

- ・自分も勉強してきたら良かった。
- ・2回目だが、3、4回と続くと内容も充実してくると思うので、期待している。
- ・各地区の主だった方へ文書で出席依頼をされてはどうか。
- ・各種団体役員に対して個別案内をしたらどうか。
- ・町民の意欲、関心が薄いと感じた。
- ・懇談会を開催することはいいと思う。積み重ねてやることで定着すると思う。回を重ねて中身の濃いものにしてほしい。
- ・意義のある懇談会だった。色々な話が聞けて良かった。適切な答えを得られた。
- ・答弁内容を簡単に要領よくしてほしい。答弁時間が長い。答える議員は一人でよい。
- ・「他区の人には後にしろ」と言っている人がいたが、懇談会は区ではなく議会が開催するものなので、前もって先に司会者がその旨を言うておくほうがいいと思う。
- ・意見を言える場があるほうがいい。
- ・一人の発言時間が長いと思った。
- ・もっと回数があってもいいのでは。年に2回くらい開催してほしい

【議会運営】

Q：質問を聞いていても担当課長に聞けば、すぐわかることを、本会議でするのは時間の無駄だ。住民に広める、知ってもらおうという意味では効果があるかもしれませんが、パフォーマンスのための質問みたいだ。行政用語、政治用語言われてもわからない。

A：担当課長に聞けば分かる質問でも、関係のある方とない方との受け取り方の相違があり、ある程度は理解頂きたい。

Q：TVを見ていても、退屈で、私ははっきり言ってみません。退屈な一つの原因が、行政の回答がありきたりで、「対応します」「検討する」「調整する」など、曖昧な回答の仕方。具体的にどうするのかと、突っ込んでもっと白熱するような、議会であれば、もっと大勢が見るのでは。個人的に聞けば納得いくような、なんとも当たり前の質問が多すぎる。

A：我々がやっていくなかで、とても参考になる意見です。

Q：常任委員会ではどのような仕事をされているのか。

A：常任委員会は3つあります。それぞれ、担当の常任委員会で各課を分担して審議しています。

Q：TVで見ているような退屈なものでなく、質の濃いものを委員会ではされているのか。

A：委員会のなかでは、もっともっと細かいことが出されている。委員会主義にして、採決までするようになれば、もっともっと委員会が濃いものになります。委員会では議事は執ってますが、放映はしていない。

Q：節電対策の一環だとは思いますが、どうにかならないものか。議場においても空調を整え、服装を整えて頂きたい。

A：世界的なエコスタイルの流れもあり、議会だけ空調を整えて暑い夏でも涼しい顔をして議論するということはできない。庁舎内の電気に関しては、LED化の議論もしているので、今後も様子を見る。

Q：議会中継（録画）を見ている。夜中12時過ぎてもやっている。あまり夜中は見ておられないのではないかと。11時までには終わるようなスケジュールにはできないか。もう一点は、同じような質問内容が多い、事前調整はできないのか。

A：質問が重複ということについて、一般質問は事前通知をしており、調整はしていますが、観点や角度が違っていたり、議員の思いもある。今後は注意していきたい。

Q：一般質問などの答弁が検討で済んでいてその後が分からないのでその後も分かるようにして頂きたい。

A：一般質問の後追いは以前に取り組んだが、出来ていない。検討課題にしている。

- ・議会の中継をほとんど見ている。議員が何を考えているのか分からず、あやふやな質問や意見が多い。
- ・議会が質問の場になっている。議論をしてほしい。
- ・現在の議員の活動や議会での発言、今後の町財政を考えても、報酬25万円×12+αは多いと思う。町長や課長の答弁を聞いて、2の矢、3の矢を打って、もっと町民に解る、納得できる質問や答弁を引き出してほしい。
- ・世間では、議場で眠っている議員は2名と言っている。真剣でやろうと努力している議員もいるのに、この方々を見て町議会なんてどうでもよいというレベルの低い人もいる。猛省を期待する。
- ・テレビに出るので「とりあえず毎回質問しています」ではなく、もっと勉強（財政、町の未来）をして、内容を磨いて、この町、この国のために働いてください。町民の中には、もっともっと勉強をして、本を読んで聞いている人もいます。
- ・広域的（町単位を越える）研究を。
- ・質問そして答弁の際は、宮津市議会と同様にそれぞれの席での発言がされれば、時間短縮にも繋がると思う。
- ・大体勉強できていると思う。
- ・議会開催中に居眠りをしている議員が見受けられる。議員の品性が疑われる。
- ・行政と噛み合わない部分がある。個人の思いだけで質問されている場合がある。
- ・町からの意見に答えるだけでなく、議会から町に意見をどんどん積極的に言うことがあってもいいと思う。
- ・意見、要望をすべて反映させるのは難しいと思うが、お願いしたい。
- ・取り組みをもっと早く情報公開願いたい。
- ・同じような質問が多く、内容や答弁が乏しい。
- ・もっと勉強して内容を磨き、この町のために働いてほしい。
- ・織物の町にふさわしいように、議場では夏場でもネクタイを。

【議員定数・報酬】

Q：議員定数や報酬に関しては、議員自身で考えていくべきだと思う。

A：選挙一年前までには結果を出すべく議会自ら答えを出したい。

Q：与謝野町合併して初めての議員さんだが、18名というのは人口割とかで決められているのでしょうか、18人はどうしても必要なのか、足りないのか。

A：18名が多いか少ないかですが、正直言って難しい問題がありますが、個人的には私は18名が多いとは思っていません。例えば、現状として、庁舎問題など大きな問題があり、住民代表として、いろんな問題を吸い上げる機会が必要だと考えている。

- ・議員定数の削減について、数は減らさず報酬を下げろ。
- ・議会経費の削減として議員を減らす事がよいのか疑問である。
- ・民間は身を削り、合理化をして血を流している。行政はまだ甘い。有田市だったか議員報酬も町税に合わせたものにするとか、夜間の議会にして報酬を下げるなどしている。
- ・議員数を減らすべきだ。

【庁舎問題】

Q：議会の庁舎問題特別委員会だが、我々の検討委員会に提出された資料を参考にしながら議論を進めていくのはいささかおかしいのではないか。

A：委員長も考えながら進めてくれている。

Q：庁舎問題ですが、特別委員会をされており、録画では見たが、各議員に意見が盛り上がりにかける。2回目行ったときには、傍聴は私だけでマスコミが1人だけだった。議論が盛り上がるかと思ったが、意見を言われる方はいるが、ムードとしてはあまり、喧々譁々ではなく、静かに進んでいる印象を受けた。合併してどういうメリットがあったのか。デメリットとしてはどういうものがあるのか。

A：委員会の件ですが、最初は色々な議論をさせていただいた。検討委員会を町が立ち上げたので、その議論をしっかりと見極めたなかでというムードもあり、白熱した議論はしてなかったのが現状です。残った一つの請願も、検討委員会の議論を優先しなければならないということで、議論が白熱しなかったことについては、申し訳なかったと思います。3町が合併したのは、国の動きがあったこと、合併をすればしばらく飽をなめさせてやる、そういうようなことがある、全国的に合併があった。3町合併が盛り上がり、合併はメリットがあるということで、調印がされ合併したと思っております。

Q：庁舎の問題で〇〇議員の考え方を聞きたい。

A：現状維持と町民の声を聞いて欲しいと言うこと。この問題で一体化の方策ができればと思っている。

【その他】

Q：今回の不祥事（教育委員会）のその後の動きは。また、責任の取り方をどうするのか。

A：再発防止の議会特別委員会を立ち上げて検討していくことになる。これから裁判が行われるので、その動きも注視していく。

Q：〇〇議員に個人的にお聞きしますが、議会で、地域協議会が提案されている。自治区は頑張っている、二重行政とは言わないが、〇〇議員が、いまの自治区はすべて高齢化し、役員が人材も硬直化していると言われた。区長も頑張っているが、その辺の理解がどうなのか。

A：人材の硬直化や役員の高齢化の現状があることを指摘した。私の認識不足があったかもしれないが、事実、そうした自治区もある。より活発な自治区にしていくためには、若者や女性などが運営に参画し、意見を述べる必要があるではないかと思っている。

Q：皆さんは、出身地域があります。それは、やはり気になりますか。山田地区は議員がいないのです。やはり、地域を優先されて思いを述べられるのか。

A：地域の気持ちがないといったら、嘘になるとは思いますが、今回の議会懇談会のメンバーは、1班から3班まで常任委員会を2人出した、例えば岩滝地区は3人ですが、それぞれ分けた。会派のメンバーもそれぞれ分けた。ありとあらゆる公平性を考え、実施させていただいた。

Q：我が里で票が減ることを恐れずに問題に対処してもらいたい。

A：叱咤激励をしてほしい。

Q：議員さん方は都市計画をどの様に考えておられるのかと思う。まちづくりの基本であるのに私人の損得で考えているのでは。重要な部分をほっといてよいのかと思う。ほんとに分かっているのか疑問に感じる。

A：都市計画は町づくりの基本的なものである。現在国の制度の見直しの最中でありもう少し待ちたいと言われている。

Q：簡易水道の値上げ案はなぜ廃案になったのか。

A：地域によって料金体系が異なること、値上げ幅が高過ぎるなどの理由で否決になった。

・交付税も含めて税金の使い道をもっと精査してほしい。

—行政への意見—

【庁舎問題】

Q：庁舎統合問題は、いま総合庁舎を作ろうとしている、動機というか、そういう動きが出たのは、今の時期になぜ、庁舎問題がでてきたのか。

A：財政だけではないが、一番総合庁舎にしようとしているのは、財政も大きな理由だと思います。3町の職員が一緒になりました。320人の職員を240人まで減らしてきている。

Q：現状を見たら、私は加悦庁舎以外にないと思う。地域振興課が何人なるのかわからないが、これだけは必ずどこになっても残してほしい。

A：地域振興課を残してほしいという意見は、検討委員会でも多くある。乗り物がない方には必要。現状からいうと、加悦庁舎が一番だということは私も思う。

Q：庁舎問題について岩滝では強い反対があった。〇〇氏であるとかに意見を後から聞いたが、どうも感情的な部分が多くて、理屈は町長の案が私は良いと思う。町長を補佐する立場の者が、もっと上手にやれば、岩滝でもこんな反対が多くなつたとは思えない。

A：〇〇さんが言われた通り、スタートの部分で感情的に走ったことはあると思う。岩滝の方も、総合庁舎は必要だなという方が多くなって来ている。検討委員会の答申を町長がどういう判断をされるのか、我々もしっかり見守りたい。

Q：早いこと総合庁舎を建てるべきだと思っている。総合庁舎は、町の中心にあるのが良いに決まっている。当然、野田川に作るべきで、加悦役場に3億も無駄であり、大反対だ。

A：3億8千万については、庁舎統合検討委員会でも使ってはいけないという意見が殆んどだったと思う。今の現時点では、あり得ない。総合庁舎が良いが、今すぐではないというのが検討委員会の大半の意見だったのではないかな。

Q：職員のなかでほとんど消防が維持されているというように聞こえたが、それは大きな間違いで、この与謝地区は、職員もあるが地区の若い者がやっている。庁舎が、岩滝に行ったら手薄になるような行政ではだめだ。どこへ行ったからできないではなく、やれるような体制を築く必要がある。

A：消防団員、何百人もお世話になっている。ほとんどの方は、仕事を持ちながら消防活動をしていただいているのが現状です。昼間の火災等については、非常に手薄になり、役場の職員が消防活動にすぐに急行することで、空白地域を残さない形で活動している。

Q：9名の委員が現状維持のまま、将来町の中央に総合庁舎を建てるべきという、意見が出た。委員会の運び方が、どうも検討委員会の資料を使ってやりとりがあったようだ。方向性を誘導するような意見があり、いかがなものかと遺憾に思った。

A：しっかりとお聞きする程度にとどめておきたいと思います。

Q：庁舎問題からお聞きしたい。全体の賛成がでるところに持っていくのが、与謝野町が発展していくことになる。どのような意見が多かったのかお聞きしたい。

A：検討委員会の意見を、町長は最大限重視すると言われた。すぐに総合庁舎にするのは、無理ではないかというのが、多い意見ではなかったか。

Q：京都新聞によると、1案から5案についてですが、第4案、新しい庁舎を野田川につくってというような案があり、委員の過半数が賛同している文面だった。今後もっと財政が厳しくなるなかで、半分近い方が賛同されていることは、合点がいかないのでは、お聞きしたい。

A：野田川にというのは、おそらく中心地ということを考えておられるのではないかと思います。庁舎を建てるのも、吝かでもないという程度のものであり、まだ結論は出ていない。

Q：野田川に総合庁舎をもっていくという意見が、19人中9人おられる。20億もかけて建てるのは厳しいと思うが、新築というのは、財源的に可能な数字なのかをお聞きしたい。

A：個人的な意見としては、もうしばらくしてから、しっかり議論する必要がある。建てる方向でいかれた場合は、私は、基金の積み立てが必要だと思う。

Q：合併時の議論を議員は理解できているのか。議会で徹底して時間をかけて考えてもらいたい。紳士協定をされた本人が破るとは理解できない。

A：総合計画にも謳われており、町長が判断されたと理解している。

- ・町民のためにか。職員のための庁舎か。金の使い方を考えるべきだ。庁舎も立派なものを立てる必要はない。
- ・岩滝に総合庁舎があるが、行政サービス等に、どんな問題が具体的にがあるのか。合併してどういうメリットがあったのか。デメリットとしてはどういふものがあるのか。
- ・3億も4億もお金をかけて庁舎統合をしなくてもいいと思う。
- ・財政が厳しくなるなか、新庁舎の建設は納得がいかない。

【加悦中学校】

Q：加悦中学校の改築ですが、人口が減ってくるのに要らないのではという意見があり、役場の考えは。ほかに思惑があつて防災機能も考えているのではと聞いているが。

A：加悦中学校は耐震が弱いというなかで、これから加悦中学校を使っていくには弱いため、工事をしなければならないということで動いてきた。1学年3クラスの校舎が立ちます。これについては、疑問があるかもしれません。

A：先ほど、〇〇氏から加悦中学の生徒が少なくなるので、校舎を建てるのが無駄ではないかとの質問で、今日の司会者の〇〇議員から、そういうことはあり得ると言う意見があつたが、それは議会のなかでも話が出ているのは事実です。しかし、議会として1つの固まった意見には成っていません。色々な意見のなかで、そのような意見もあるということで

理解がいただきたい。40年もたった校舎では、危険が伴います。まず、子供の安全が第一であるとのことで建築が進んでいますので、そういった1つの意見であるということで理解をお願いします。

Q：また、違約金を全額返金要求すべきだ。また、子供のため、早く建設すべきだ。

A：弁護士にも相談し、話を進めていると聞いている。

Q：昨年の町政懇談会で加悦中学校の改築に批判的な意見があった、少子化の中で建て替えは疑問、17億5千万円を使って今建て替えるのは妥当か、将来の学校の統合を見据えた中での議論がなされたのか、江中を廃止して加悦へ持っていくのか。

A：加悦中の改修は、耐震が低いことから始まった。統合とは関係ない。

Q：加悦中、江中の生徒数の将来の計算のうえで審議をしたのか、将来の統合を見据えて場所の検討等も議論をしたのか。

A：中学校の生徒数は、この10年はあまり変わらない。耐震問題は喫緊の課題だ。

A：教育長の私見では、今の場所で無駄にならないとの事。将来を見据えているが、町と合意が出来ていないので発表はできないとの事だ。

Q：改築の体育館の災害対応について、山の下で道路も一方通行で今の場所では良くない。

A：場所については、同じ意見を何度も申した。しかし、補助制度の問題があり、現状の場所でやりたいとのことだ。

Q：加悦中学校40年を経て古くなって建て替えなければならないような物を作るな。しっかりした金を使って建ててそんなに早く傷むものか。

A：小中学校で耐震工事ができていないのは加悦中のみ、耐震工事に多額の費用がかかるので新築に踏み切った。

Q：加悦中学校の建築の方向について考え方を問う。また一からでは困る。

A：出来るだけ早く進められる方法を議会でも考えたい。

Q：加悦中学校、問題が起きた、教育長の処分が軽い、辞めなっただろうがいい。

A：処分についてとやかく言えない。町長に伝える。

Q：加悦中が建て替えされる。岩屋小学校も生徒数50人を切った。将来を見据えて学校改築を考えておられるのか。

A：与謝野町教育・保育環境検討委員会で検討され、それを受けた教育委員会の基本方針がまだ正式なものとして出ていない。加悦中、耐震不足ゆえ計画が立てられたが、将来的なことを考えてのこととは言えず、議会でも議論されている。

・予算も減少していくなか、徹底的な経費の削減をおこなってほしい。その観点から言えば、庁舎統合に向けるより、学校の統廃合をした方が良い。

- ・ 図面を破棄して新しくすぐ作るべきだ。

【財政】

Q: 統合するときのメリットは、財政的に有利だったと思うが、決算では、厳しい状況になっているのはなぜか。

A: 恩恵があるうちに合併をしたほうが良いのではと、思いが一つになり、合併が進んでいったと思っている。3町が一緒になっていかなければ、行政が立ちいかないとのことだったと思います。メリットとしては、交付税の恩恵がある、合併特例債も有利だということではないかと思っている。

Q: 合併特例債というのは、補助としてもらえるのか、返済をしなければならないのか。

A: 合併特例債も借金です。町はだいたい3割の負担をしたら借金を返せるということです。

Q: 住民の所得は200万切っている。行政を見ると人件費が圧倒的に多い。行革もスタートしたが、人件費としては総量を決めてやれないか。

A: 確かに世間の景気が悪い中で、与謝野町は町民所得が低い状況です。それに比べ、与謝野町の職員は、与謝野町で1番だろうと思う。京都府全体でみると、与謝野町が高いということはない。

Q: ラスパイレスは理解しているが国家公務員のは都内の一流企業の給料より出されている。地元の企業との比較が大事なのでは。

A: 地域における官民格差は無くさなければならぬと考えている。

Q: 財政の指数、目標は毎年作っているのか、民間ではもっと厳しいものがある国家公務員との給料比は。

A: 国家公務員を100として、93.1%。

- ・ 正職員と臨時職員の給与の二重構造ができている数字のマジックで逃げようとしている。自らの姿勢を見せろ、減額は少ない、不祥事でも減給をして禊が終わったことのようにしているが、自ら血を流すことをしたら。

【町政懇談会】

Q: 庁舎問題で町の三役が叩かれて、町政懇談会が無くなったのかとも思う。行政は叩かれて強くなる。

A: 町政懇談会については町長部局に伝えておきますが、我々が主催ではないので、その点は理解をお願いしたい。

- ・町政懇談会もやってほしい。
- ・今年度は子育て懇談会であったが、町政懇談会をしてほしかった。

【KYT】

Q：カメラを移動してアップを映せ。顔の表情を見たい。

A：話をしている人を写せという意見もあるので参考にしたい。

- ・議会中継(録画)を見ている。夜中12時過ぎてもやっている。あまり夜中は見ておられないのではないか。11時まで終わるようなスケジュールにはできないか。
- ・区長の意見があったが、私の場合は、KYT議会報告は遅い時間だから、観られる。遅いから必要ないではなく、何回でもやってほしい。よろしく願いたい。
- ・KYTを見ようにも我が家には入らない。無料で見られるように各家庭につけたらどうか。

【都市計画・施設整備等】

Q：旧岩滝町は都市計画区域であり、住宅の建設などをおこなってきた。旧野田川町・旧加悦町は都市計画に入っていないことから、合併後の差がどうしても生まれている。

A：産業建設常任委員会としても議論していかなければいけない論点である。宮津・岩滝地域が都市計画に入っている。野田川や加悦についても対策を練る必要もある。

Q：水洗化が町ではどのくらい普及しているか、聞くところによると、分担金は、水洗にするとときに払えばいいと言われたが、どれだけ分担金を払っておられるのか。また、普及活動はどうされているのか。

A：職員は水洗化率の向上に努力していると思います。分担金は、接続する、しないに関係なく、役場は請求をさせていただいております。いまでも未収の方がいる。役場できっちり集金していただくようお願いしています。

Q：岩滝体育館にソフトバレーの用具設置をお願いしたい。

A：行政にも伝えますが、体育協会からも要望をしてもらいたい。

Q：岩滝の街灯の整備を。

A：担当課にあたってみる。

- ・石田にひとつくらい公衆トイレが設置できないか。
- ・法整備が出来るまで簡易水道料金については野田川や加悦地域でお願いしたい。
- ・一市二町ではダイオキシンの処理費の補助金不能使用できない。ゴミ問題は京丹後市と一緒にしないと無理。京都府とも連携して対応してほしい。
- ・三河内東本線は四辻亀山線までか。

- ・中央線は資材置き場になっていて土建業者の車の出入りで道路が汚れている。
- ・岩屋峠はがけ崩れが起きるのでトンネルを掘れ、災害が起きた時はどこを通るのか。
- ・クアハウス前のバス停に待合所を設置してほしい。
- ・28年度に大宮の縦貫道が開通するが、与謝ICではかなりの交通量がある。バイパスのところに、もっと活用方法がないかと思う。

【地域活性化策案】

Q：観光は人が来ないとお金も落ちない。加悦の道の駅が寂しくなっている。与謝野町には名所がないので、道の駅に芝桜植える。運動公園に紅葉の名所にする。自転車道路などに花木を植栽してフラワーロードにする。パワースポットを作る（谷村新司は真名井神社に参拝した）。紅葉地帯を大規模に作って人を呼べば。田圃を潰して競輪場を。阿蘇海には競艇場や漕艇場を作ったら。

A：当町にとって観光は大きなポイントだ。良いところはあるが、点在している。大きな集客施設が必要ではないかと思う。ちりめん街道がポイントになるよう、行政も力を入れている。

A：良い提案をして頂いた。5年後10年後に町の財産になるように先行投資も必要だ。

Q：企業誘致は難しい。発想の転換を図り、新しい企業を起こすことが大事。そのためには、人脈づくり、情報収集などが大事。また、そういった部署を役場内に設置すべき。

A：確かに、発想の転換の時期に来ている。提案された内容は検討していきたい。

A：産業建設委員会でも、ご提案の内容も議員間討議で深めたい。

Q：宮津市では(人口増加の目的)Uターンの人に100万円、賃貸の場合50万円出すと聞いている。

A：勉強させて頂く。

Q：「ふるさと納税」のPRをして町を出た人の協力を。

A：現状は年間85万円。

Q：与謝野町でも天橋立の活用を考えるべきだ。体験型の観光地として考えられないか。阿蘇海でのカヌー体験、金樽いわしなど、何か攻めの取組みを行政が仕掛けていくことが大切。加悦鉄道復活ぐらいの発想で取り組んでほしい。

A：丹後広域観光キャンペーンに積極的に参画。一人あたり来客消費額は与謝野町は780円と府下最低。通過する観光ではいかがかと思っている。

Q：少子高齢化は一自治体の問題だけではない。新しい住民を受け入れるなど、思い切った政策を考えるべきではないか。例えば、固定資産税5年間カットなど。

A：個人的には、保育園の優遇、固定資産税無料化など、可能性を探っていきたいと考えている。

- ・京丹後でのお見合いパーティーで、カップルが誕生している。
- ・町税も年々減少しているが、今後所得がアップするような施策が必要だ。
- ・住民から提案を受け、それを支援するのが町の姿勢だと聞いている。担当課は全国を走り回って情報収集を。
- ・観光客や入込客を増やすようにもっと力を入れるべきだ。

【その他】

Q:町では親機に対して、雇用の助成金の一部を補助されている。これも非常に厳しくなっている。又、経営者に対しての金利補助など、これからは賃機屋をどうして守るか。賃機屋や従業員に重きを置いてもらいたい。

A:賃機屋に対する支援については、どのような提案ができるか具体的に考えていきたい。商工業関係には補助が少ない。機屋さんが少なくなっている。

Q:めぐみ保育園横の側溝補修について、現状なりをお伺いしたい。

A:側溝に関しては、区からも要望をあげてもらっていると思う。年間、膨大な要望があるが1割ほどしか実現できていないのが現状である。

Q:現在、ひまわりバスが走っている。2年ほど前に、通学用と言うことで野田川駅まで延長の案があったが、廃止になっている。あの路線をされるときに調査をされたのかお聞きしたい。

A:ひまわりバスは、確かに乗客が少ないのは現状です。採算が合わないというのはそうですが、住民サービスを重きにやっている。特に高齢者の足の確保の視点でやっているの、採算性といわれると全くありません。デマンド等も考える必要はある

Q:いま、デマンドというのがでたが、正直言ってこれでないだめだと思っている。巡回バスにこだわるとしんどい。

A:デマンドにしても巡回するバスのコースをつくっても経費はあまり変わりません。車輛なり、運転手を待機させなければいけないので、経費自体はそう変わらない。

Q:住宅改修の40億の経済効果だったと聞いた。それほど効果があつたのなら、もっと続けて頂きたい。

A:2億円が単費で6千万円が補助です。23年度で終わりました。多くの議員が続けてほしいと言っておりますが、町としては3年の事業なので、終了したいとのこと。

Q:国府レベルの公共事業の情報が全く伝わらない。情報を伝えるなかで、野田川ICの有効活用や与謝野町の地域振興などについても発展すると思う。

A:I Cの誘導看板を増設し、与謝野町をアピールしていくということもありますが、観光と言う意味では、受け入れ態勢が整っていません。我々も今後、将来のまちづくりになるよう、努力していきたいと思います。

Q:公民館の利用料金ですが、野田川時代の条例による使用料金ですが、ずいぶん高い。この部屋を借りたら2時間で2千円とかの単位、どこでもそうだと思う。もっと、自己啓発とか、グループでは少数だから高いと。このことについて改めて聞きたい。

A:宮津市では、公民館使用料を財政が厳しくなり上げられた。それが良いのか悪いのかわからないが、当町も条例の範囲でやっており、料金については議会ではでていない。

Q:三河内幼稚園ができて60年。年々園児が少なくなっている。時代に合わせるかたちで、開業時間を延長するなど幼稚園運営も考えて頂きたい。

A:教育委員会から町長へ幼稚園や小学校のこれからについての答申が出されている。公表されることになると思うから、もう少し待ってもらいたい。

Q:災害時の訓練の実態は。(高齢者、認知症の方などへの対応は)

A:岩滝では、隣組単位で安否確認しながら、指定されたところに、避難している。大切なのは、寝たきり老人・小さな子どもなど弱者対策はきちっとできていないので、もっと具体化がいると思っている。

Q:空き家や廃家の対処の現状について。

A:町で実態調査をしている段階である。東京のある区では上限100万円の補助を出すことが決まったと聞く。対処を考えていかなければならない。

Q:個人情報の開示について。

A:個人情報の問題ですが、個人情報を守るという法律です。あの神戸の大震災が起きた時、その後の(救助復興活動の)最大の障害になった。結局、自治会役員やNPOが、各戸を訪問して、確認していった。合意をしてもらい、その必要な対応をしていった。それしかない。

Q:町の経済は疲弊している。今後のビジョンが見えない。もっと強硬にやって頂きたい。

A:議員は努力していると思うが、知恵が足りないとの指摘はあると思う。皆さんの知恵をお借りしたい。我々も聴きにいかなければいけない。もっと議員を使って頂きたい。これからはそういう時代ではないかと思う。

Q:福祉のまちなら福祉施設を充実して、全国的に困っている人々に来てもらえるよう、徹底した福祉の町になれ。種をまいて花を咲かせ。

A:徹底した福祉の町づくりも、活力産むパワーだと思う。

Q:職員の配置、建設課に岩滝出身の者が1人しかいない。岩滝の地理の分かる者がいないので、対応ができていない。

A:町長の専権事項である。

Q:農業委員の報酬年間12万円は安すぎる。京都府農業会議では、議員の1ヶ月分を支払えと言っている。

A:善処してもらおうように努力する。

Q：入札がくじ引きで決まっている。最低価格の公表は職員の不祥事を守るためにある。今のままでは他地区での仕事が取れなくなるのでは、業者の育成にはならない。

A：業者にアンケートをとったら現状のままで良いという意見も多くある。今後も調査していく。

Q：岩滝庁舎横の家屋の広告「目指せ分立」は。

A：運動は無い。分立は不可能な話だが、そういう意見の方はある。

Q：岩屋小学校クラス6～7人は教育的にやりにくいのでは。

A：早く方向性を示すべきだと思うし、努力したい。

Q：小中保の統合の進み具合

A：学校統合に関しては、教育委員会の基本方針が町長に提出されているので、その公開を待ちたい。統廃合は町の考えがまとまっていないのが現状だ。

Q：地籍調査が新町になってから進行していない。

A：20年くらいで終了できる予定だったが進捗していない。積極的に取り組んでいくと聞いている。

Q：丹後地方は10年で5%の人口減となっている。町長からは織物と農業が町の基幹産業と聞かすが、最近は福祉という言葉聞く。町税も年々6000万円減少している。町民の所得アップをするには、どういう政策が必要と考えておられるのか。

A：中小企業振興基本条例が制定された。これが重要だと考えている。

Q：町のトップの考え方が変わってきたなと思っている。以前はプラント誘致など70億円の資金が動くという話も聞かれた。今は住民から町に話を持ち込んでもらって、それを支援する方向に向かっている。しかし、町からヒントを与える姿勢が求められるのではないか。機屋も昔のような力がないなか、担当課長は役場におらず、全国を走り回って情報を集めてほしい。

A：過日、長野県の小布施町を視察した。町のトップの判断とコーディネートする人が地域の活性化には必要と思った。与謝野町にも大江山、古墳公園、一字観公園、織物などいいものがたくさんあるが外部から眺めた指導が必要だと考える。

Q：3町が合併しただけ。中味が全然変わっていない。旧町単位が目について一体化が進んでいるように見えないが。

A：まだ一体化してない面もあるかと思うが、一体化に向けた活動もできている。

Q：災害時に備えて岩屋区は訓練しているが、町に非常食を頼んだが東北地方にまわして在庫はないということだった。非常時には、地域協定を結んでいる舞鶴などから支援してもらおうということだった。大丈夫か。

A：備蓄の状況を確認したうえで、より良い状況にできるよう要望したい。

Q:学校のイジメにはどのように対応されているのか。

A:大津事件以後、校長・園長会議で対応を取っていると聞いている。

Q:先生とPTAのはらをわった話合いの場を設けてほしい。

A:委員会で提起して協議していきたい。

Q:不耕地の荒れ、獣害、害虫発生、空き缶のポイ捨てなど、どのように考えているのか

A:農地の荒廃地は増加している。農業委員会にも提言してきたが、制度的な問題もある。地域ぐるみで農地を守っていく必要がある。

Q:KYT でモラロジの案内が流されたようだが、おかしいのでは。頼んだら他でもできるのか。

A:私のところにもそういった話がきた。尋ねたら文部省後援と聞いた。

Q:徳山先生が11月末で閉院予定。地元の高齢者などが困惑してる。対策は。

A:全体で考えていかなければならない。

Q:丹海バス、ひまわりバスを含めて利用しやすい方策、移送サービスの規制を緩くする事などできないか。住民負担の軽減。

A:デマンド方式とかの方策を試している自治体もある。

Q:織物業の状態、工賃めっちゃくちゃ安い、織機の修理費の補助など考えられないか。

A:機直しの補助などは商工会などでやっていたように記憶している。

Q:加悦中の太陽光発電設備は、効果の上がない無駄な設備であると思うが。

A:国府の補助事業で実施し、子どもたちへ自然エネルギー・太陽光発電を学ばせるために実施する。

Q:電子黒板の利用方法や現状はどうか。

A:電子黒板に関しては、国の政策で実施されたものである。電子黒板の利用状況に関しては、有効に使用できるよう有効活用が必要だと考える。

Q:東北の支援学校も被害にあって多くの犠牲があった。(府立与謝の海支援学校) 体育館は海拔 20m高で福祉避難所に指定をしてほしい。避難所指定がないと援助が来ない。学校と話しているが、町と学校と協定すれば出来るのでは。総務課は府の学校なので府の教育委員会と話さなければならないと言っていた。加悦谷高校は府の学校だが防災マップに載っている。町に要望書も出しているが子供たちをだれが助けてくれるのか。

A:福祉避難所について意見を踏まえて一緒に考えていきたい。

・常日頃から税負担が大きいと感じている。無駄遣いをなくしないと国も地方も借金が膨らみ、破綻状態に陥るのは明らかだ。特に、職員の汚職は税金の無駄遣いにつながりかねないものだった。

- ・有害鳥獣のフェンス張りは大事であるが、森に食べるものを植えるなど、根本的な対策が大事なのは。植えるために3割補助があるが、竹を切っても苗代にもならない。
- ・当町では、公務員の不幸事が多すぎる。(建設課2件、教員2件)
- ・防災・減災について、今の避難所の建物では避難者で一杯になる。原発は30kmすれすれである。町外への避難を考えなくてはならないが、他町へ行く道が7か所ほどあるがその整備についてはどうなっているのか。
- ・原発事故の避難体制はできているのか。
- ・この町は閉塞感が漂っている。老人難民の急増、ゴミ焼却所、加悦中など対処しなければならない問題が多い。
- ・地域振興課が必要だといった理由は、高齢者であるとか、体が不自由な方とか大切だと思う。逆に、地域振興課の職員が1日おくれてでも、役場まで走りなさい。
- ・私は帰省するまで京都府警にいた。法律が次々変わっていく。新しい法律ができたり、法律の一部改正が行われたりと、現場の仕事というよりは、デスクワークが多くなる。そういったなかで、手が取られ、住民サービスが手薄になる。
- ・江中下での事故が増えている、通学に自転車道を利用する関係で四辻縄手の辻が危険である、生徒が止まらないこのままでは事故がおきる。
- ・児童数が少なくなればサッカーや野球ができなくなる。また、競争できる環境が必要だ。学校統廃合を進めるべきだ。
- ・幼保の統廃合は子どもを預けるのに不便になる。
小学校は統廃合すべきだ。
- ・当町は福祉に関する施策は素晴らしいものがあるが、不幸事が報道されると住民として恥ずかしい。職員の倫理規定を見直す又は、職員の相互監視などが必要では。
- ・加悦興産バスがあった頃は、野田川駅やウイル等へ行くのに本数が多く便利だったのにとこの話を聞く。なぜ廃止になったのか教えてほしい。鉄道を残してほしい。
- ・光ファイバーが遅くて値打ちがない。
- ・宮津に道の駅ができると聞いたが。
- ・田圃の耕作が減ってきているセイタカアワダチ草の対策。
- ・将来が見えてこない、良いことがない、内閣がしっかりするように中央政府に申し出てください。
- ・農業の担い手担い手と言っているが、四辻5区で農業をしているのは3、4人で高齢の者で小作をしている。田圃の所有者は21人ぐらいいる。我々は苦しみながら生きているが、人間は楽になることばかりやっている。自分の健康を大事にすること、今を大事にすること、みんなで協力していく、苦しみながら生きていけばなんとかなるという考え方で生活をしている。
- ・障害者親の会の代表をしているが、町内の3つの親の会が一つにならない、町の補助金が旧3町のままで、支援学校のPTAの補助金と別に貰っていてそれぞれが別々なので、補助金を受けるための事業を行うのが精一杯で、ひとつになれない。
- ・庁舎が遠くなるから反対というのは我がままだ。

参加者からの質問に対する行政の回答

【質問1】

蛇谷水源の上の水源の森の奥を男山区が管理しているが対応しきれない。蛇谷の水源から民家までが町道、その先640mが林道、さらにその先は作業道になっている。林道ですら春には行けないようなことになる。水源の森を大事にしてダムのところまでは行けるように町の方でしてほしい。

【回答】（農林課）

男山区長から男山蛇谷上林道の倒木を処理して、林道を通行出来るよう対処してほしいとの電話が数回担当にありました。担当者が現場を確認したところ山林所有者で十分対処が可能であると判断し、地元で対応してもらいたいと返事をしていました。

懇談会の意見内容を再度男山区に確認したところ、担当が現場確認をした時点では地元の方で倒木処理をした後であったことが判明しました。

雪解け頃に区役員と農林課職員で現場を確認して、程度をみて判断したいと考えています。

【質問2】

府道53号線（網野～岩滝線）の岩滝化学付近の整備（トンネル）はどうなっているのか。

【回答】（建設課）

府道53号線（網野岩滝線）については、京都府により、バイパス（案）と現道拡幅（案）があり、それぞれ検討されているところであり、最終的な結論はまだ出ていないのが現状です。

【質問3】

与謝野町の学校教育の基本方針はどのようなものか。

【回答】（教育委員会）

毎年度「学校教育の重点」として町教育委員会の基本方針を定め、指導の徹底を図っています。

その基本は「生きる力」を育むことを柱に、学力の充実・生徒指導の充実・人材育成の3つの重点を掲げ、学校と家庭と地域の連携のもと与謝野町ならではの教育を推進することとしています。

【質問4】

公民館の利用料金について、町条例で定めている料金以外の使用料について、公民館によって差異があることについてはいかがなものか。

【回答】（教育委員会）

町立公民館の使用料は条例により一律に定められており、差異はありません。

しかし、地区によっては、過去の経緯などの実情により地区公民館管理協力金を別途徴収している所があります。

エラー! リンクが正しくありません。エラー! リンクが正しくありません。エラー! リンクが正しくありません。エラー! リンクが正しくありません。

議員・事務局の役割分担

項 目	議 員	事務局
1 持っていく物		
(1) 説明文	●	
(2) 各種資料 ①議会基本条例 ②平成23年度決算参考資料 ③議会だより(第24号、第25号)	●	
(3) 説明資料(出席者へ配布) ①平成23年度決算状況 ②定数・報酬等の状況	●	
(4) 議会だより(第24号、第25号) 出席者閲覧用(持ち帰りなし)	●	
(5) アンケート用紙、鉛筆、回収箱	●	
(6) 出席者受付簿	●	
(7) マイク設備(録音)		○
(8) 会場入口表示「議会懇談会会場」	●	
(9) 会場内表示「議会懇談会」	●	
(10) 議員氏名(机上)	●	
(11) 受付表示(机上)	●	
2 会場準備【午後6時45分集合】		
(1) 会場の鍵の開閉(公民館等の玄関)	●	
(2) 会場内の準備(机、椅子、座布団など)	●	
3 懇談会【午後7時30分～9時30分】		
(1) 受付	●	
(2) 司会進行(開会挨拶)	●	
(3) 自己紹介	●	
(4) 報告	●	
(5) 意見交換	●	
(6) 記録	●	
(7) 写真	●	
(8) 閉会挨拶	●	
(9) 録音、マイク渡し		○
4 報告		
(1) 報告(事後)	●	

開会挨拶・報告説明資料

【開会挨拶】

議会の現状と活性化等の取り組みについて

開会にあたり、「議会の現状と活性化等の取り組みについて」、まず報告し、挨拶にしたいと思います。

私達が住んでいるまちを快適で住み良いまちにしていくためには、町民の意見が政治に反映されなければなりません。

そのためにも、議会は、積極的に情報を公開して、町民の皆さんがわかりやすく、参加しやすいよう推進しなければと考えています。

また、議会は、行政から提案されたまちの事務や事業を審議し決定したのち、それらが確実に実行されたか等をチェックする責務があります。また、議員同士が討議を行い、資質を向上させ、皆さんに信頼される議会でなければなりません。

今定例会において、議案として提案された「簡易水道給水条例の一部改正」で、水道料金の値上げが提案されましたが、賛成者少数で否決されました。

議員定数・報酬については、ご承知のとおり、合併協議会で決定された定数と報酬ですが、議会アンケートでも多くの意見をいただきました。

議会の役割や責務を踏まえた上で、これまた、町民の皆さんの声をお聞きしたり、行財政改革や他の自治体との比較なども考慮し、総合的に判断し、来年3月末までには一定の結論を出したいと思っています。

与謝野町議会では、2年前（平成22年10月4日）に議会活性化特別委員会を設置し、24項目にわたる多くの課題を一つひとつ検討して、本年（平成24年）3月に議会の憲法ともいわれている“議会基本条例”を制定いたしました。

そして、本年度（平成24年度）からは条例に謳ってある内容を一つ一つ具現化して実行していきます。その一つが、議会基本条例第4条の規定にある、本日の“議会懇談会の開催”であり、住民の皆さんの生の声をお聞かせ願ひ、町政に生かしたいと思っています。

本日の懇談会が、町民の皆様、特に本日ご参加していただいた方々にとって、また、私たち議員にとって有意義な場となりますようお願い申し上げ、開会のご挨拶と致します。

【報告者説明】

町の当面の主な課題について

次に、今、町が抱えている当面の重要な課題2点と平成23年度の決算について、簡単にご説明申し上げます。

1 庁舎問題について

1点目は、役場庁舎の問題です。

役場庁舎の問題については、昨年（平成23年）5月28日、“野田川わくぱる”において町民説明会が開催され、町長より加悦庁舎を総合庁舎にするなどいうものであります。

その後、昨年6月20日から8月5日まで、町内24地区において地区懇談会が開催され、加悦庁舎への統合案が説明されましたが、この提案に対する町民から声は、合併協定が尊重されていないこと、町民の意見が入った合意形成がされていないことなど、厳しい意見が出されました。

議会としても、事務所の位置を定める重要な問題だけに、昨年（平成23年）6月9日に議員18人全員の構成による庁舎問題特別委員会を設置し、現在まで14回（平成24年10月18日現在）の委員会を開催し検討してきたところであります。

また、昨年8月22日に、議会に対し二つの請願書が提出され、その後、一つは取り下げ（平成24年2月8日）がありました。もう一つの請願については、現在も引き続き、慎重に審査しているところです。

そのような状況の中、町長は「検討委員会を立ち上げる」との方針を打ち出し、本年（平成24年）1月31日に第1回「庁舎統合検討委員会」が立ちあげられ、10月30日に第9回の委員会において“まとめ”がなされ委員会は終了しました。

そして、11月7日に検討委員会の委員長から町長へ答申がなされたところでございます。

町長は、この委員会の答申を尊重され判断されるとのことであり、今後の審議の推移を注視する必要があると思います。

以上が、簡単な「庁舎問題について」の説明ですが、詳細については、この後、質問があれば、わかる範囲でお答えさせていただきます。

加悦中学校の改築事業について

2点目は、「加悦中学校の改築事業について」です。

加悦中学校は、建築後40年が経過し老朽化や耐震強度が非常に弱いため、耐震工事をするのか全面改築するのか検討されていました。新築工事に17億5千万円かかると試算されていましたが、耐震工事にも12億円という多額の費用が必要になり、建て替えの方が補助率が有利との試算もあり、新築工事に踏み切ったものです。

昨年(平成23年)10月には、PTAや地域の方々を参加を得た「改築事業検討委員会」が立ち上がり、先進地を視察されるなど検討し基本計画を策定されました。そして、今年度(平成24年度)で実施計画に着手しています。

施設の主な特徴としては、仮校舎を造らず、順次校舎や体育館などを建設していく方式や、給食はランチルーム方式(全校生徒が一同に会して昼食をとる)などの計画がされています。

すべて完成するのは、平成27年12月の予定と聞いています。

しかしながら、皆さんご承知のとおり、この改築工事をめぐり、教育委員会職員が逮捕、起訴される事態が発生し、その事業が現在ストップしている状況です。

議会としても、原因究明と再発防止のため、議員6人で構成する「収賄事件再発防止調査特別委員会」を、10月12日に立ち上げ、今後、調査を進めていく準備をしています。

以上が、「加悦中学校改築事業について」現時点での説明です。

以上が、町が抱えている当面の重要な課題の中から2点について、説明させていただきました。

3 平成23年度決算状況について

3点目は、平成23年度の決算の状況です。

平成23年度は、合併特例期間の10年間の後半にさしかかる年度となり、総合計画に掲げる事業を進めながら、歳出を出来るだけ抑える行財政改革の推進を図る年でした。

その中で、平成23年度は様々な大きな事業が完了した年でもあり、特徴的な事業としては、次のようなものがあります。

- ①旧岩滝町時代に10年ごとに開催されておりました「大名行列事業」への補助
 - ②町内全域に整備を完了した「有線テレビ施設整備事業」(終了)
 - ③平成21年度から3年間実施されました、国の「ふるさと雇用再生特別交付金・緊急雇用創出事業」
 - ④町の単独事業として取り組みました「住宅改修助成事業」(終了)
 - ⑤「産業振興会議」で検討いただき本年3月に制定された「産業振興基本条例」本年度はその理念に基づき具体的な取り組みが望まれます。
 - ⑥平成22年度からの継続事業で、デジタル化対応を行うための「防災行政無線施設整備事業」(終了)
 - ⑦耐力度診断の結果に基づき、耐震改修ではなく建替えを行うこととなった「加悦中学校の改築工事に向けての基本設計業務」
 - ⑧加悦加工場跡地に建設中の「地域共生型福祉施設整備に伴う造成工事事業」
 - ⑨橋立中学校の平成24年度からの給食実施に向けての施設改修事業
 - ⑩指定管理によるリフレかやの里のリニューアルに向けての施設整備事業
- 以上が、平成23年度の特徴的な事業です。

平成23年度は大変逼迫した非常に厳しい財政状況でありましたが、限られた予算の中で必要な整備や事業などが実施されました。

配布させていただきました表にもありますように、平成23年度の普通会計の決算は、歳入は118億6,391万円、歳出は116億930万円です。

また、町に入る収入額に対して、町が自由に使えるお金は、約1割です。

(経常収支比率87.0%)

また、税金や手数料など、町が自力で収入できるお金が全体の2割余りです。

(自主財源24%)

以上が、決算の状況でございます。